



平成 25 年 9 月 14 日

各 位

会社名 株式会社 マルマエ  
代表者名 代表取締役社長 前田 俊一  
(コード番号: 6264 東証マザーズ)  
問合せ先 取締役管理部長 藤山 敏久  
(TEL. 0996-64-2900)

### 通期業績予想の修正並びに特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、平成 25 年 8 月期（平成 24 年 9 月 1 日～平成 25 年 8 月 31 日）の業績予想について、平成 25 年 7 月 5 日付当社「業績予想の修正に関するお知らせ」にて発表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

また、平成 25 年 8 月期第 4 四半期会計期間において下記のとおり特別損失を計上することとなりましたのでお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 当期の業績予想数値の修正（平成 24 年 9 月 1 日～平成 25 年 8 月 31 日）（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	1,140	110	90	85	4,584.68
今回修正予想 (B)	1,160	120	120	80	4,314.99
増減額 (B-A)	20	10	30	△5	
増減率 (%)	1.8	9.1	33.3	△5.9	
(参考) 前期実績 (平成 24 年 8 月期)	1,103	50	21	△62	△3,603.42

#### 2. 修正の理由

当期における事業環境は、期首の想定よりも FPD 分野が好調に推移しました。また、半導体分野につきましても、当事業年度第 3 四半期より市場環境の改善は明確となり当社を取り巻く環境も改善傾向にあります。

このような環境のもと、売上高につきましては、好調だった FPD 分野の受注が足元で一服するなかでも半導体分野が下支えする構造となり若干増加する見込みとなりました。

利益面につきましては、社内生産性の向上により利益率が改善し売上総利益を上乗せすることで営業利益は増加する見込みです。経常利益につきましては、営業利益の増加に加え為替差益が 18 百万円発生したことにより改善する見込みとなりました。

当期純損益につきましては、次項の通り固定資産の減損損失を特別損失として計上することにより修正いたします。

### 3. 特別損失の計上

本日開催の取締役会において「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき資産の回収可能性等につき精査・検討を行った結果、資産健全化を念頭に保守的に評価し、36百万円の減損損失を計上することといたします。当第4四半期会計期間において減損損失を計上しました資産及び資産グループは、以下のとおり本社遊休資産の建設仮勘定に計上しております電子ビーム溶接機関連です。

(単位：百万円)

資産グループ	用途	種類	金額
本社	遊休資産	建設仮勘定	36
合計			36

以 上

(注)本資料に記載されている当社の業績予想は、本資料の日付時点において入手可能な情報による判断及び仮定を前提にしており、実際の業績は様々な要因によって異なる場合があります。